

平成 19 年度 法科大学院（法務研究科）既修者認定試験

刑 法 問 題 紙

B 日程

平成 19 年 2 月 25 日

15 : 00 ~ 16 : 30 (90 分)

(120 点)

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、問題を開いてはいけない。
2. 刑法の問題紙は 1 ページのみである。
3. 解答用紙は、問題 1 と問題 2 の 2 枚である。解答用紙の追加は認めない。
4. 解答用紙は 2 枚ともかならず提出すること。
5. 監督者の指示に従い、すべての解答用紙に受験番号と氏名を記入すること。
6. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
7. 試験終了まで退室してはいけない。

北 海 学 園 大 学

問題 1 (60 点)

Xは、通勤途中に、路地から飛び出してきたAが突然短刀で切りかかってきたので、とっさに側にあった拳大の石をAに向けて投げつけたところ、石はAには命中せず、たまたまその場を通りかかったBの顔面にあたり、Bに傷害を負わせた。Xの罪責について論じなさい。

問題 2 (60 点)

Xは、深夜、一人暮らしのA女宅に押し入り、物音に気づいて起きてきたA女に、台所にあった包丁を突き付けて現金10万円を奪った。その後、A女に劣情を催したXは強いて姦淫した。以下の場合につき、Xの罪責を論じなさい。

姦淫の際、A女が抵抗するので、A女の顔面等を殴打し全治1ヵ月の傷害を与えた。

姦淫の際、A女の抵抗が激しいので、死ぬかもしれないと思いながらA女の首を絞め続けた結果、A女を死亡させた。